

H28試験課題の作成方法(推定)

試験元(センター)はどのような考え方によって試験課題を作成するか考察した(研究会による推定)。それを踏まえて、H28の研究会の製図講座の概要を紹介する。

1章 試験課題の作成方法について(研究会による推定)

試験元である公益財団法人建築技術教育普及センター(以下、センターと言う)は、どのように試験課題を作成しているかを推定した。

- ・一般常識的に考えて、センターの試験課題が、あまりに難しく時間内に解答することが困難なものであれば、それは問題となる。
 - ・他方、試験課題が資格学校A社、B社の予測課題に、あまりに類似していると、それは問題となる。
 - ・平成27年度の製図合格者3,774名の内、A社の合格占有率は約57%、B社の合格占有率は約30%、その他の合格占有率は約13%である。
 - ・9割弱の合格者がA社、B社の資格学校へ通学している方である現状から、その両社の学習内容はセンターとして把握する必要がある。
 - ・しかし、A社、B社の通学時の資料に類似させることは、通学しない方との平等性の観点から、それは問題となる(入手可能性?)。
 - ・A社、B社が学習していて、更に両社に通学しない方も入手可能なものとしては、A社、B社が販売している一般書籍(試験対策書)がある。
- 以上から研究会としては、センターが試験課題を作成する場合、基本的には次の通りに行っているのではないかと推定する。

- (1) 一般書籍(A社・B社)の内容を把握し、その内容を50%程度類似させると推定。
- (2) 残り50%程度は予測し難い内容を組込むように作成していると推定。

上記(1)と(2)であれば、上述した様々な要因が全て解決する。8月中旬に販売されるA社、B社の一般書籍(試験対策書)は、その中に本年度の予測課題があり、両社に通学する方は最初に学習する。また、通学しない方も一般書籍として購入できるので、平等性の観点からも問題ない。A社、B社の一般書籍には、毎年約3種類程度の予測課題が同梱されているので、この内容も含め、50%程度類似させることで、受験者全員がそれなりに解答できる試験課題となる。本件について裏付け調査を「平成26年度 温浴施設のある道の駅」により行った(下表参照、本資料は会員講座で公開中)。その結果、A社とも、B社とも同じような内容の要求室や諸条件が、センター試験課題にも出題されていた。この点は、平成27年度も同じような傾向が見られた。

しかしながら、試験元としては、一般書籍等の予測課題と類似し過ぎるのも問題となる。従って、50%程度は類似させるが、残りの50%程度は予測し難い内容を盛り込まないといけない。この点について「平成27年度 市街地に建つデザイナーズ付き高齢者向け集合住宅」のセンター試験課題を見ると、予想し難い内容として下記のような条件が出題されている。

- ・敷地は駅から約200mの商店街の一角に配置され、その連続性を重視した設計をする指示があること。
 - ・デザイナーズ&高齢者向け集合住宅とは異なる「レストランとギャラリー」があり、商店街との連続性を配慮する課題であること。
 - ・東側道路は歩行者専用道路であり、21時~翌6時まで車両通行可であること。
- この点は、事前に発表された課題からは予測し難い内容である。

平成26年度「温浴施設のある道の駅」の製図試験課題と一般書籍等(出題予測)との比較検討

【比較分析結果】

- ・本試験問題と各社の予測課題がどの程度類似しているか、会員の協力を得て調査した結果を表1に示す(A社とB社の一般書籍の予測課題と、A社とB社の通学時に配布される全予測課題)。
- ・比較項目の中でA社とB社の書籍で、どちらも本試験問題と一致する内容は、建設用地(1,800㎡、縦50m、横36m)、指定㎡数(1,800~2,200㎡)、レストラン50㎡、事務室4人、収容人数90㎡、屋外テラス50㎡である。
- ・試験元であるセンターは、一般書籍で売られているA社、B社の書籍を十分理解しているものと見受けられる。⇒各社の通学時の配布資料まで把握してないと思われる。
- ・センターは、一般書籍で売られているA社、B社の書籍の内容を加味しながら、一部類似した問題と、その他に予測し難い問題を含めて試験問題が作られているのではないかと推定する。⇒誰もが購入できるものを参考≠不平等にならないため
- ⇒この点は、通学時の資料予測資料までは参考してないと思われる。仮にA社、B社の通学資料のどちらかの内容に類似すると、その通学資料だけが有利な試験になりかねないので、それは平等性から避けるのではないかと推定する。
- ・結論として、A社・B社の資料については、一般書籍で良いと判断する。

表1 本試験課題と各社事前課題との要求室等の比較

課題名	面積	縦	横	用途	施設・設備等の条件										収容人数	屋外テラス	駐車スペース	備考													
					施設・設備等の条件				設備・設備等の条件				設備・設備等の条件						設備・設備等の条件												
					歩	駐	車	本	設備	設備	設備	設備	設備	設備					設備	設備	設備										
試験課題	1,800	50	36	1,800 ~ 2,200	公園	駐車	遊歩・歩道	30人	乗降機	200	50	50人	遊覧	各15人	30人	遊覧	20人	4人	遊覧	遊覧	50	80	50	50	2	2					
A社書籍	課題①	1,800	50	36	1,800 ~ 2,200	遊歩	駐車	歩道	山林	エド	エド	50	300	—	70人	遊覧	各150	100	—	遊覧	—	8人	遊覧	遊覧	40	—	—	1	部門分け無し		
	課題②	1,750	35	50	1,800 ~ 2,100	住宅	駐車・歩道	遊歩	遊歩・休憩	250	230	150	150	—	80人	受付	各120	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	50	遊覧	—	2	部門分け無し			
	課題③	1,810	48	35	1,700 ~ 2,100	駐車	遊歩	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	遊覧	各1400	125	設備	遊覧	—	8人	遊覧	遊覧	—	100	—	1	—		
	課題④	1,850	50	33	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	歩道	山林	エド	エド	250	225	遊覧	100	—	100人	遊覧	各120	100	—	遊覧	遊覧	—	80	—	1	部門分け無し			
B社書籍	課題①	1,800	50	34	1,800 ~ 2,200	駐車	遊歩	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	80人	遊覧	各150	100	—	遊覧	—	5人	遊覧	遊覧	—	100	—	—	—		
	課題②	1,800	50	36	2,000 ~ 2,400	歩道	公園	駐車・歩道	遊歩	公園	—	—	—	—	40人	遊覧	300	40	設備	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	25	20	—	2	2		
	課題③	1,750	35	50	1,700 ~ 2,000	遊歩	駐車	駐車・歩道	遊歩	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
	課題④	1,810	48	35	1,700 ~ 2,100	駐車	遊歩	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	遊覧	各75	1012	設備	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	50	—	—	1	部門分け無し	
	課題⑤	1,850	50	33	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	歩道	山林	エド	エド	250	225	遊覧	100	—	100人	遊覧	各120	100	—	遊覧	遊覧	—	80	—	1	部門分け無し			
	課題⑥	1,700	50	34	1,800 ~ 2,200	駐車	遊歩	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	80人	遊覧	各150	100	—	遊覧	—	5人	遊覧	遊覧	—	100	—	—	—		
	課題⑦	1,800	50	36	2,000 ~ 2,400	歩道	公園	駐車・歩道	遊歩	公園	—	—	—	—	40人	遊覧	300	40	設備	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	25	20	—	2	2		
	課題⑧	1,750	35	50	1,700 ~ 2,000	遊歩	駐車	駐車・歩道	遊歩	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
	課題⑨	1,880	48	35	1,800 ~ 2,200	遊歩	歩道	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	遊覧	各75	1012	設備	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	50	—	—	1	部門分け無し	
	課題⑩	1,728	48	36	1,800 ~ 2,200	住宅	歩道	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	40人	遊覧	各80	20人	設備	遊覧	交遊	5人	遊覧	遊覧	—	80	—	—	1	部門分け無し	
課題⑪	1,880	50	36	1,800 ~ 2,300	歩道	駐車	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	80人	遊覧	各100	20人	設備	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	80	—	2	1	部門分け無し		
C社書籍	基本課題L1	1,750	50	35	1,800 ~ 2,300	歩道	河川	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	60人	遊覧	各60	遊覧	遊覧	遊覧	200	5人	遊覧	遊覧	—	80	—	—	1	部門分け無し	
	基本課題L2	1,800	50	36	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	遊歩・川	遊歩	—	—	—	—	—	40人	受付	各12人	15人	遊覧	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	150	80	—	1	部門分け無し	
	基本課題L3	1,820	35	52	1,600 ~ 2,000	駐車	橋	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	受付	各20人	—	—	遊覧	—	3人	遊覧	遊覧	—	150	—	2	1	部門分け無し	
	基本課題L4	1,7																													
	チャレンジ課題	1,8																													
	オリジナル課題L1	1,750	50	35	1,800 ~ 2,300	歩道	河川	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	60人	遊覧	各60	遊覧	遊覧	遊覧	200	5人	遊覧	遊覧	—	80	—	—	1	部門分け無し	
	オリジナル課題L2	1,800	50	36	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	遊歩・川	遊歩	—	—	—	—	—	40人	受付	各12人	15人	遊覧	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	150	80	—	1	部門分け無し	
	オリジナル課題L3	1,820	35	52	1,600 ~ 2,000	駐車	橋	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	受付	各20人	—	—	遊覧	—	3人	遊覧	遊覧	—	150	—	2	1	部門分け無し	
	オリジナル課題L4	1,7																													
	オリジナル課題L5	1,8																													
オリジナル課題L6	1,750	50	35	1,800 ~ 2,300	歩道	河川	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	60人	遊覧	各60	遊覧	遊覧	遊覧	200	5人	遊覧	遊覧	—	80	—	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L7	1,800	50	36	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	遊歩・川	遊歩	—	—	—	—	—	40人	受付	各12人	15人	遊覧	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	150	80	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L8	1,820	35	52	1,600 ~ 2,000	駐車	橋	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	受付	各20人	—	—	遊覧	—	3人	遊覧	遊覧	—	150	—	2	1	部門分け無し		
オリジナル課題L9	1,7																														
オリジナル課題L10	1,8																														
オリジナル課題L11	1,750	50	35	1,800 ~ 2,300	歩道	河川	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	60人	遊覧	各60	遊覧	遊覧	遊覧	200	5人	遊覧	遊覧	—	80	—	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L12	1,800	50	36	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	遊歩・川	遊歩	—	—	—	—	—	40人	受付	各12人	15人	遊覧	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	150	80	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L13	1,820	35	52	1,600 ~ 2,000	駐車	橋	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	受付	各20人	—	—	遊覧	—	3人	遊覧	遊覧	—	150	—	2	1	部門分け無し		
オリジナル課題L14	1,7																														
オリジナル課題L15	1,8																														
オリジナル課題L16	1,750	50	35	1,800 ~ 2,300	歩道	河川	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	60人	遊覧	各60	遊覧	遊覧	遊覧	200	5人	遊覧	遊覧	—	80	—	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L17	1,800	50	36	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	遊歩・川	遊歩	—	—	—	—	—	40人	受付	各12人	15人	遊覧	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	150	80	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L18	1,820	35	52	1,600 ~ 2,000	駐車	橋	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	受付	各20人	—	—	遊覧	—	3人	遊覧	遊覧	—	150	—	2	1	部門分け無し		
オリジナル課題L19	1,7																														
オリジナル課題L20	1,8																														
オリジナル課題L21	1,750	50	35	1,800 ~ 2,300	歩道	河川	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	60人	遊覧	各60	遊覧	遊覧	遊覧	200	5人	遊覧	遊覧	—	80	—	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L22	1,800	50	36	1,800 ~ 2,300	遊歩	駐車	遊歩・川	遊歩	—	—	—	—	—	40人	受付	各12人	15人	遊覧	遊覧	—	4人	遊覧	遊覧	—	150	80	—	1	部門分け無し		
オリジナル課題L23	1,820	35	52	1,600 ~ 2,000	駐車	橋	遊歩	遊歩	—	—	—	—	—	50人	受付	各20人	—	—	遊覧												

2章 研究会の予測課題の作成方法について

「1章 試験課題の作成方法について(研究会による推定)」は、センターから試験作成に関する事項が公表されていないので、正しいと断言できない。しかしながら、様々な検討をしていくと、かなりの部分が1章の各種推定を裏付ける結果となっている。研究会は、平成28年度の予測課題を以下の理由による3案とした(下記イメージ図参照)。

(1) 8/15(月)1回目の予測課題

1回目の予測課題は、過去問の分析を踏まえた研究会の案である。

8/15(月)の段階では、まだ一般書籍(A社、B社)が販売されていない。従って、過去問を分析したうえで、研究会単独で想定できる予測課題を提案する。なお、研究会は、予測課題を3案としているが、「80%以上ズバリの中する予測課題の解説」の中で、項目別にあらゆるパターンの紹介をすることから、こちらとの平衡学習により毎週のように課題を繰り返し学習する方法に匹敵できる知識を得ることができると考えている。

(2) 8/31(水)2回目の予測課題

2回目の予測課題は、一般書籍(A社、B社)の内容を取り込んだ比較的一般書籍(2社)に近い案とする。

1章での解説および過去問の比較検討一覧表からも判断できるように、一般書籍(A社、B社)の内容及び予測課題は、試験元(センター)も十分精査して試験問題を作成していると考えられる。従って、2回目の予測課題は、この一般書籍の予測課題(2社併せて6案等)を徹底分析して、そこから出題されると思われる内容を抜粋し、予測課題を1案作成する。

(3) 9/15(木)3回目の予測課題

3回目の予測課題は、一般書籍(A案、B案)の内容を50%程度加味しながら、残り50%程度は予測し難いと考えられる内容を、過去問の分析を踏まえて盛り込んだ案とする。

平成27年の研究会の予測課題は、初年度ということもあり、1点予測課題とした。その中で、この予測し難い部分について、「喫茶店と防災倉庫」を組んだ。センター試験課題では、「レストランとギャラリー」であったが、喫茶店をレストランに置き換えると、それなりに解答できたものと思われる(外部動線は予測できたが、駅からの商店街までは予測できなかった)。平成28年についても、様々な分析をして、センターの予測し難い内容を予測したい。

(4) 9/30(金)80%以上ズバリの中する予測課題の解説

上記(1)～(3)は、あくまで予測課題であり、それだけでは他社と同じか、予測課題が少ない分、不利となる。研究会は、毎週のように様々な予測課題をこなす方法は、受験者にとって負担が多すぎること、結果的に何が正解なのと言う疑問に陥る可能性があること等から、3案に絞り込んでいる。しかし、これだけでは、十分な理解を得られず、幅広い応用力が身につくとは言い難い。それを改善するため、「80%以上ズバリの中する予測課題の解説」を組んでいる。

これは、会員講座「5章 過去問の項目別分析(H21～H27)」における各項目と連動し、項目ごとに出題が予想される内容を解説することで、本課題の全体像が見えて来るというものである。また、ここでは、「記述課題」も取りまとめ。記述課題は、この資料を読んで頂くと、ほぼ80%以上解答できるように考えている(この記述内容は丸暗記して下さい)。

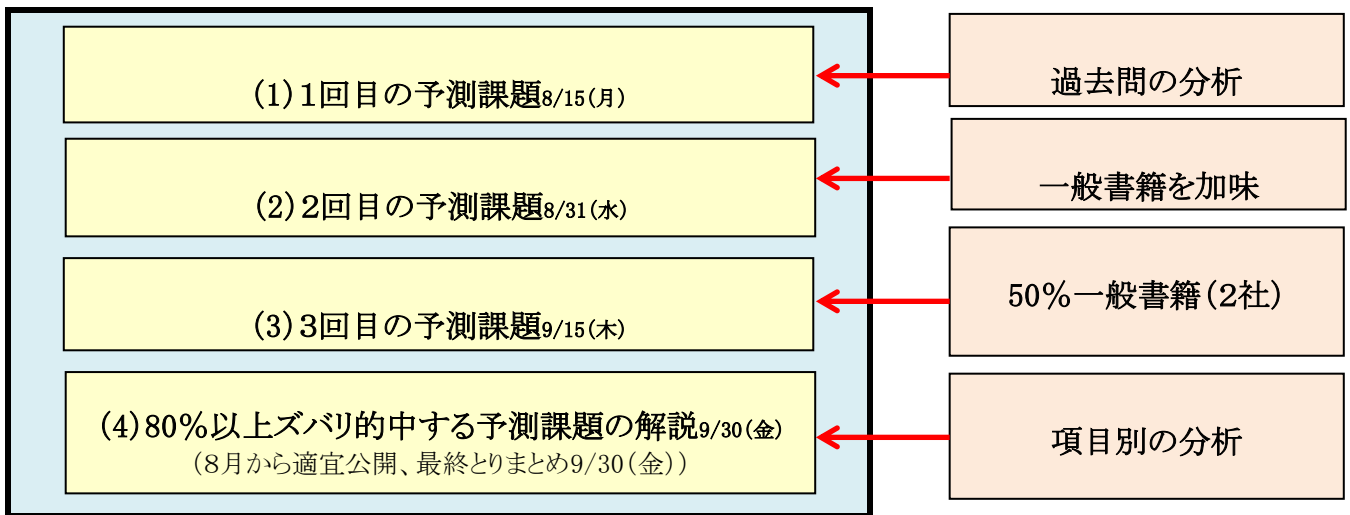


図 研究会の資料と検討概要

注) 研究会は、資格学校の様々な予測課題を毎週のように学習する方法を否定しているものではない。そもそも、合格者の約9割が資格学校へ通学する現状がある。研究会としては、予測課題を3例に留め、その先の「80%以上ズバリの中する予測課題の解説」を特徴としている。予測課題を絞り込むことは、外れた場合に企業の存続意義が問われるので、企業としては行い難い一面がある。毎週のように課題をこなす方法は、結果的に当たり外れが無く企業責任も問われないが、「結局何が出題するの?」という疑問が生まれる。

その他、資格学校の良さは、通学することで同じ受験者と切磋琢磨できて刺激になると共に、日曜等の通学時は強制的に丸一日学習できる環境を得られるという利点もある。それにしても、短期で30～40万円、長期になると50～60万円と言う法外な価格が一般化していることには疑問を感じざるを得ない。多くの若手からの意見も、この点は多かった。それでも1年で合格できるなら良いが、一般的に言われている合格までの総額は約200万円である。

なお、「全国ストレート(学科+設計製図)合格者は、1,594名中965名で60.5%」等の表現をされている資格学校があるが、一見、初年度で6割合格できると錯覚に陥るが、これは、合格者全員の中の占める割合が6割という意味であるので、誤解しないようにした方がよい。H27学科合格者は、4,806名であることから、この965名は、初年度受験者による割合としては、20%である。正しく確認するには、昨年の学科合格者のうち、昨年の通学者は何名?と確認すると、その学校の通学者のストレート合格率が判明する。きっと、40万円掛けて、その合格率なのとビックリすることになると思われる。・・・研究会の資料も参考にして頂くと幸いである。